

奈良県土木マネジメント部下水道課長 小西 勝之氏

下水道は、汚水を速やかに排除あるいは処理することにより、生活環境の改善、水循環の創出、公共用水域の水質保全、下水道における資源の有効利用、浸水の防除などの役割を果たしている。そのために、排水施設として下水管、これに接続して汚水を処理するために設けられている処理施設およびこれらの施設を補完するために設けられたポンプ等の施設を有する。奈良県の下水道事業は昭和45年度の事業着手以来、流域下水道、公共下水道等での整備において長大な排水管が布設されてきたが、近年は老朽化したインフラに対する維持管理の重要性が再認識されている。奈良県の下水道事業についてその歴史と現状、今後の課題について、奈良県土木マネジメント部下水道課長の小西勝之氏にお話をうかがった。



快適な生活環境 確保目指し供用

一県内の下水道事業の歴史と現状についてうかがいたいと思います。
小西 奈良県では、高度経済成長期の急速な都市化と住民生活の多様化が進む中で、河川水質の悪化が急激に進みまし。大和川の水質は、昭和45年にBOD(平均値)で21・4mg/lとなりまし。

耐震化対策や 補修点検を実施

一管路の改築や更新などの課題への対応、取り組みについてうかがいたいと思います。
小西 流域下水道の終末処理場における設備更新にあたっては、機器ごとの健

維持管理費が増大 効率的な運営を

このような状況のもと、河川の水質汚濁の防止を図るとともに、快適な生活環境の確保を目指し、昭和49年度に大和川上流域下水道第一処理区(浄化センター)の供用を開始しました。それ以降、同59年度には第二処理区の供用を開始しました。その後、同62年度に宇陀川流域下水道、平成3年度に吉野川流域下水道の供用を開始しています。
流域下水道事業の整備に伴い、流域間連公共下水道事業等に着手する市町村も増加し、現在では県内39市町村中30市町村で下水道事業が実施されています。



この度は、県下各市町村の技術者の方が多数参加され、管路更生工法の研修会を企画いただき誠にありがとうございます。また、開催に際し、当協会に対し、講演およびデモ施工の要請をいただき重ねて御礼申し上げます。

品質と担い手確保へ

この度は、県下各市町村の技術者の方が多数参加され、管路更生工法の研修会を企画いただき誠にありがとうございます。また、開催に際し、当協会に対し、講演およびデモ施工の要請をいただき重ねて御礼申し上げます。
また、管路更生工法は、わが国の膨大な管路ストックが更新時期を迎えようとするなか、非開削で施工ができ、既存の施設を活用して新たな寿命を与えるという今の時代に適した技術であり、今後も施工延長が増加すると思われる。

老朽管路の

改築が急務

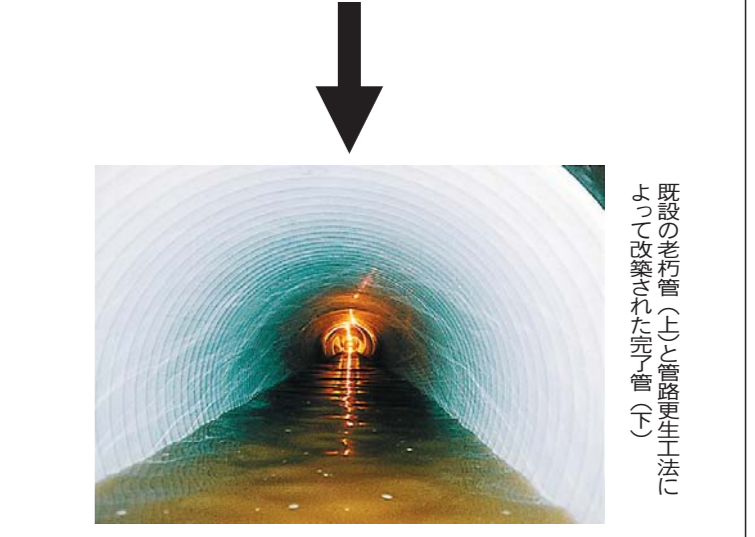
下水道事業においては、道路陥没や

普及の時代から 効果的な経営へ

平成26年度末で約6,250基に達しており、うち74%が標準耐用年数50年を超過しています。破損に伴う道路陥没発生の恐れが増すとされている布設後30年を経過している管路の延長も約1,000Qを超過する状況となっています。

このため「奈良県汚水処理構想」により、今後10年で汚水処理施設の概成を目指すこととなり、平成31年度から公営企業会計の導入を行うなど、持続的な汚水処理システムの構築を行い、効果的な運営管理の確立を目指していきます。

全度調査など客観的指標に基づき、施設の長寿命化計画を策定し、ライフサイクルコストの最適化に考慮しながら、計画的に維持管理を進めていきます。
さらに、今後発生が懸念される東南海・南海地震に備え、施設の耐震化対策も進めていきます。



既設の老朽管(上)と管路更生工法によって改築された新管(下)

奈良県管路更生工法研修会にあたり 一般社団法人日本管路更生工法品質確保協会 前田 正博氏

この度は、県下各市町村の技術者の方が多数参加され、管路更生工法の研修会を企画いただき誠にありがとうございます。また、開催に際し、当協会に対し、講演およびデモ施工の要請をいただき重ねて御礼申し上げます。

また、管路更生工法は、わが国の膨大な管路ストックが更新時期を迎えようとするなか、非開削で施工ができ、既存の施設を活用して新たな寿命を与えるという今の時代に適した技術であり、今後も施工延長が増加すると思われる。

奈良県の各市町村におかれましても、同様の課題を抱え、事業の運営をされておられること推察されます。当協会では年間の事業計画の中で、全国の自治体を抱えておられる課題に対し、講習会等の機会を

この度は、県下各市町村の技術者の方が多数参加され、管路更生工法の研修会を企画いただき誠にありがとうございます。また、開催に際し、当協会に対し、講演およびデモ施工の要請をいただき重ねて御礼申し上げます。

また、管路更生工法は、わが国の膨大な管路ストックが更新時期を迎えようとするなか、非開削で施工ができ、既存の施設を活用して新たな寿命を与えるという今の時代に適した技術であり、今後も施工延長が増加すると思われる。

奈良県の各市町村におかれましても、同様の課題を抱え、事業の運営をされておられること推察されます。当協会では年間の事業計画の中で、全国の自治体を抱えておられる課題に対し、講習会等の機会を

見えない管路に見える品質を 管路更生工法の「品質確保」を「下水道管路更生管理技士」が支えます。

正会員 50音順 72社		特別会員 50音順 15工法協会	
会社名	TEL	協会名	TEL
株式会社相川管理	027-253-1832	3SICP技術協会	03-5733-6888
株式会社アークス	03-3256-8321	EPR工法協会	03-3626-7298
株式会社アークスマ	0865-67-3540	EXダンピー協会	03-6806-7133
株式会社アークスマ	073-436-5551	FFT工法協会	03-6863-3770
株式会社アークスマ	03-5823-3050	FRT内面補修工法協会	03-3355-1525
株式会社アークスマ	06-6533-9250	SDライナー工法協会	027-329-7378
株式会社アークスマ	025-382-3631	オールライナー協会	03-5289-4340
株式会社アークスマ	03-3355-3951	管路品質評価システム協会	03-5511-0034
株式会社アークスマ	03-5635-9871	日本SPR工法協会	03-5209-0130
株式会社アークスマ	06-6761-0949	日本インシテック協会	03-6865-6900
株式会社アークスマ	077-588-4870		
株式会社アークスマ	03-3295-8860		
株式会社アークスマ	03-5427-8317		
株式会社アークスマ	06-6572-5311		
株式会社アークスマ	055-963-0538		
株式会社アークスマ	03-5379-8771		
株式会社アークスマ	03-3984-4114		
株式会社アークスマ	03-3828-8161		
株式会社アークスマ	093-602-2500		
株式会社アークスマ	027-329-7373		

特別会員 50音順 15工法協会

協会名	TEL	取得工法名
3SICP技術協会	03-5733-6888	3Sセメント工法 SGCP工法
EPR工法協会	03-3626-7298	EPR工法 EPR-L工法
EXダンピー協会	03-6806-7133	EX工法 ダンピー工法
FFT工法協会	03-6863-3770	FFT工法
FRT内面補修工法協会	03-3355-1525	FRP内面補修工法 FRP内面補修工法
SDライナー工法協会	027-329-7378	SDライナー工法
オールライナー協会	03-5289-4340	オールライナー工法
管路品質評価システム協会	03-5511-0034	管路調査・診断
日本SPR工法協会	03-5209-0130	SPR工法 SPR-PE工法
日本インシテック協会	03-6865-6900	インシテック工法

賛助会員 50音順 3社

会社名	所在地	TEL
東京都下水道サービス株式会社	東京都	03-3241-0711
日本建設機械商社株式会社	東京都	03-3226-3651
株式会社南陽	福岡県	072-413-4651

一般社団法人 日本管路更生工法品質確保協会
事務局 〒101-0037 東京都千代田区田中田西福田町3番地 新樹ビル3階
TEL (03) 3526-6336 FAX (03) 3526-6337
http://www.hinkakuyo.jp (※平成28年10月1日現在)